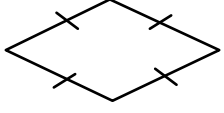
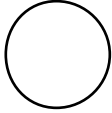
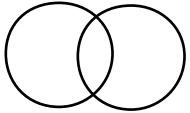


6. 本時のねらい 同じ幅の2まいの長方形を重ねてできる形を辺の長さに着目して調べることを通して、4つの辺の長さが等しい四角形をひし形というひし形の定義と用語を理解し、定義に基づいてひし形の作図ができる。

7. 本時の展開 (5/9)

【じっくりコース】

			留意点
<p>つ か む</p> <p>本時の問題 場面を把握する ことができる。</p> <p>本時の課題を つかむことがで</p> <p>ふ か め る</p> <p>ま と め る</p>	<p>本時の問題 場面を把握する ことができる。</p> <p>本時の課題を つかむことがで</p> <p>辺の長さを調 べることができ る。</p> <p>作った四角形 が4つとも等し い長さの辺をも つ四角形である ことがわかる。</p> <p>ひし形の定義 を使った作図の 方法がわかる。</p>	<p>1. 問題を提示する。</p> <div data-bbox="359 443 1152 562" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>同じ幅の2まいの長方形を重ねると、どんな四角形ができるでしょう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・平行四辺形に見える。 <p>○どんな四角形か調べるには何を調べていけばよいでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・辺の長さ・角の大きさ・平行かどうか <p>2. 課題をつかむ</p> <div data-bbox="359 750 1139 875" style="border: 2px solid black; padding: 5px;"> <p>できた四角形の特徴を辺の長さについて調べ、その特徴を使ってかいてみよう。</p> </div> <p>3. 2枚の長方形を重ねていろいろな四角形を作り、調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・辺の長さが、みな等しい。 ・辺の長さを物差しで測り、その長さをかく。 ・コンパスで比べてみる。 ・4つの辺の長さはみんな等しい。 <p>4. 全体で交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どの四角形も4つの辺の長さを調べると、同じ長さになった。 ・自分の四角形だけでなく、他の友達の四角形も4つの辺の長さが同じになった。 <p>○ひし形でない平行四辺形と今日の四角形との違いに目を向けさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今日の四角形は、平行四辺形だけれど、今までの平行四辺形と辺の長さがみな等しいところが違う。 <p>5. ひし形の定義を知り、作図の仕方がわかる。</p> <div data-bbox="363 1489 1129 1693" style="border: 2px dashed black; padding: 5px;"> <p>辺の長さがみんな等しい 四角形をひし形といいます。</p>  <p>辺の長さが等しいことを 使って、ひし形をかくことができる。</p> </div> <p>○ひし形の特徴を使って、ひし形をかいてみよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンパスの開き具合を同じにして、4つの等しい辺をかく。  <ul style="list-style-type: none"> ・違った2つの点から、コンパスで等しい長さをとって、交わった点を結ぶ作図。 	<p>留意点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長方形の定義、性質について思い出す。 ・紙をいろいろ動かし、重なった部分に注目できるようにする。 ・角の大きさ、辺の位置関係については、次の時間に考えていく。 ・長方形の紙、透明シートを用意し、実際に作る活動ができるようにする。 ・角度をかえ、重ねて四角形を作る。きちんと重ねる。 ・一つの四角形が終わったら、さらに調べるように助言する。 ・コンパスを使って長さを比べている子を認めていくようにする。 ・ひし形の同じ長さのところには同じ記号を使っていく。